

(年齢別)

※本資料は、原文内容は一切削除せず、誤字・表記ゆれ・改行位置のみを整理し、年代順に並び替えたものです。

<高校生>

○社会を循環させていくことが、地域をよりよいものに繋げていくということに気づきました。また、かしいかえん跡地というすごく大きな場所を、現在の学校などの教育的な問題や地域の方々とのふれあいの場として、活用していくことで、香住ヶ丘をよいものにしていこうというような話し合いができて、すごくいい時間を過ごせました。(女性、高校生)

○かしいかえん跡地には、たくさんのアイデアがあり自分自身では思いつかなかったような提案があり、驚きました。食で人々がつながることで良いコミュニケーションが形成されていき、地域の安全や防災にも繋がっていくなど感じました。様々な年代の方とお話しをさせて頂いたので、普段、聞くことができないようなお話を聞くことができ良かったと思います。かしいかえんの未来について、これからも考えていきたいです。(女性、高校生)

○今まで、高校の中でのみしか考えることができていなかったけど、年齢を超えて、地域人たちだったり、その地域に住んでいなかったりしている人たちともたくさん意見を出し合い、共有しあえて、とても楽しかったです。「コミュニティガーデン」については、初めて知ったし、とても興味があるので、周りに共有したり自分でももっと調べたりして、理解を深めていきたいです。香椎「花園」なので、跡地を環境にしっかり考えられた利用をしてほしいと思います。(男性、高校生)

○実際に参加してみて、香住丘という地域について、より知ることができました。また、色々な世代の方の意見を聞き、自分にはなかった視点に気づくことができました。土地のことだけでなく、周りのことや地域の現状も考えながら、土地を活用することができたらいいなと思いました。(高校生)

○今回参加したことで、跡地に学校を転移するということを考えているのだと初めて知りました。私は将来、跡地に、地域の人が集まれて、楽しめる。顔見知りも増えて、そこに行けば誰かに会えてお話できるような環境ができたらいいなと

思っています！でも、1番は地域の人が願っていることが叶ったらいいなと思いました。（女性、高校生）

○かつての香椎花園がみんなが楽しめる場であったように、跡地の利用も、そんな風に地域共生という役割を果たすことのできる場所になれば良いな、と強く思いました。やはりマンションなどが建って終わり、ではなく、長く笑顔があふれる場というのが、僕的には良い未来だと思います。すごく良い時間でした。（男性、高校生）

○今まで高校に通うなかで気になっていたかしかえん跡地について、たくさんの方と交流できて、様々な意見に触れることができました。このように地域で交流ができる場は、もっとあったほうがよいのでは、と思いました。跡地を利用して多くの人が交流できたり、楽しめる場にしたいです。（高校生）

○今回、初めて参加して、かしかえん跡地をどのようなものにするかを色々な視点から考えると、たくさん案が出てきました。やっぱり香椎花園があったときは、子ども、地域の賑わいが目に見えて嬉しいので、何か、賑わいがまた生まれたら嬉しいな、と思いました。今では、かしかえんの歴史を知らない人も多いと思うから、跡地でなにか作ったときに、かしかえんの歴史を伝えるようなけいじばんなどがあれば、歴史を感じながら過ごせると思いました。（高校生）

○いろいろなお話を聞いて、かしかえんが、グリーンのある、幅広い人が関れる、集まれる場所になったらいいな、と感じました。香住丘の未来を想像したら、わくわくしてきました。貴重なお話や年齢層の広い人とのお話をきけて、学びになりました。ありがとうございました。（女性、高校生）

○今、この公民館で話し合っている未来の話は、今日来ていない高校生は知らないことなので、私たちの高校の隣ではこんな未来の話をしているんだよ、ということを知ってほしい。また、跡地も同様に、こんなコミュニティが展開されているんだ、ということが周りにも伝わる開放的な場所となり、より新しい人とのつながりを増やせる場所になるといいなと思いました。（高校生）

○実際に跡地利用を運営されている方のお話を聞くことができ、とても勉強になりました！色々な人のお話を聞いて、やっぱり地域のつながりをつくることのできる場所があるということは大切だなと思い、様々な人が気軽にたどることができる場が増えていったらいいなと思いました！（女性、高校生）

<大学生>

○住民、自治体、西鉄という民間企業の三者が共創して生まれる「まち」や空間になって欲しいと感じました。住民の思いやコンポスト等、香住ヶ丘ならではの取り組み、西鉄の様々なノウハウがうまく融合した「まち」こそが持続可能な「まち」なのではないかと考えました。

次回、可能であれば、市や西鉄の方にも来ていただいて、互いの思いを共有しあうとより良くなるのではないかと思います。（大学生）

○斉藤さんのお話にあった「顔の見える地図」やたいらさんのコミュニティガーデン、また私自身が観光ツアーづくりをされている方からお話を聞いた際に地域の知り合いをつくることで、その場をより好きになれるとおっしゃっていたことから、人々が集える場所だけでなく、会いたくなるような人とも出会える場所になるとよいなと思った。コンポストは持続的に関われそう。また、校区の方から生徒多い問題の生の声を聞いて、私の過ごした10年前とも全然、状況が違い、人口にあった開発をしていく必要があるそうだと考えた。（女性、大学生）

○僕は、県外出身者なので香住ヶ丘のことは正直あんまりよく分からなかったのですが、このワークショップを通じて香住ヶ丘の人たちの思いを、たくさん聞くことができ、とてもよい機会になりました。また、機会があれば参加したいと思いました。（大学生）

<20代>

○初めて出会った方々、住みたい町についてシェアできたことが、とても素敵な時間でした。他の人の大切にしていることを、受け取れる、受け入れられる、この空間ごと、まちになったらいいなと。世代を超えてシェアできる、安心できる場をつくってくれた方々に感謝です。（男性20代）

<30代>

○今回は「共生」について、地域の人と共に、オープンな場所であるべきではないかと考えました。

「学校+サッカー場」ここに、オープンな地域の人間に愛される土地活用としてほしいと思います。

（男性 30代）

○齋藤さんと平さんのお話しや皆さんとの交流を通して、たくさん気づきがありました。循環や人との繋がりを、地域と香椎花園跡地とこのコミュニティですすめていけたらいいなと強く思いました。（男性、30代）

<40代>

○地域を地域の人たちと作るということが実感でき、とても勉強になりました。様々な方の香住ヶ丘という地域に対する思いを聞いた、いい時間になりました。かしかえんが地域の輪の中心にある、ということですね。今更ながら、かしかえんの偉大さを知りました。皆さんの香住ヶ丘という地域に対する思い、熱量が印象深かった。（40代）

○・学校や図書館やグラウンドで地域の人々をつなげる。・公園もよいが、ただの公園では、人は集まらない。・人を定期的集めるスポーツで活気を。・知人口を増やす活動ができる場を。（40代）

○かしかえんの跡地のルーツは、みんなが集う楽しめる場所、花や木々がたくさんあった場所、それをそのまま大切にしたい。子どものための学校プラスαとして、そういう、みんなが集える場所、広場やグラウンド、菜園、様々な活用ができ、1人でも多くの人々が笑顔になれる場所になってほしいと思いました。（女性、40代）

○前回に続き2回目の参加でした。前回もそうでしたが、皆さんのかしかえん愛がすごい！！私を含め、ここがみんなの思い出のつまった場所なんだと実感します。本当に、ここがみんなの集える笑顔のたくさんある、癒しになるような場所であってほしいと思います。スピーカーのお二人のお話は共通することが多く、自分の価値観にもとってもマッチするもので、聴いていて、こんな街になったらステキだなと、こんな街になるよう、自分もできることをやっとう、とあらためて思いました。ありがとうございました。この場であることに感謝です。（女性、40代）

○色々な世代の人が集まり、未来について話す良い機会でした！テーブルでは土地のアイデンティティの継承、みんな参加して楽しめる空間、色々な使い方ができる空間、公共空間の新しいカタチみたいな物ができると良い、などなど書ききれないぐらいたくさんアイデアがでました。（男性、40代）

○たくさんの方とお話をして、どの人にとっても“よい”“楽しい”状態をつくっていくことは、しっかりと耳をかたむけて対話をすれば実現できると思えました。例えば、高校生はよりみちしたい、小学生は走り回りたい、高れいの方は楽しく運動したい、行政の方は維持管理の協力体制が大切。これは、知恵を出し合うことで共存できる。だれかの意見だけでなく、みんなでつくっていくことの大切さに気づくことができました。（女性、40代）

<50代>

○香椎花園という、元々の地域にとっての存在を考えると、跡地は地域に住む人々と、そこで働いたり、学びに集まる人々とのつながりを育むことが出来る場所であって欲しいと思えます。箱崎の九大跡地の話もありましたが、全ての取り組みが成功するとは思いませんが、多くのことにチャレンジし、地域の人々が関わっていけば、何か大きな花を咲かせるものになればと思えました。（男性50代）

○みなが集まれる場、開けた場が欲しいです。手段として、食べる場、映画館、学校、グラウンドと、年齢問わず、使える場があるといい。学校も大学のようにキャンパスのように分校もあり、（50代）

○集まることのできる場。人が交流できる空間が大切。今の高校はオンラインで、人と関わることがない教育の場となってしまったそう。日本語で相手を思いやる言葉遣いを習得する必要性がなくなっている教育の危機的な状況があり以降急速に進んでいるという、開発によって公園などとして提供される空間には、人々が集い交流できるしかけがほしい。若い人々を日本人として教育できるように神話(?)を生かしたまちの配置は考えた方がいいと思えます。（50代）

○「かしいかえん」という名前を残したい、という意見がたくさんあり、地域の方の思いがたくさんつまった大切な場所なんだと感じました。50年後は「かしいかえんって何?」と言われ、知らない人ばかりにならないため、歴史を継承していき、じゅんかん型コミュニティガーデンを実現させ、地域の人がHappyで健康になるように特別な場所であってほしい。（50代）

○斉藤さんとたいらさんのお話はとても良かったです。香住ヶ丘を今後、どういう街にしていきたいか。「コンポスト」で資源循環に地域と関わる、これを今後の地域活性化にどう生かすか!!と、とても考えさせられました。前回の香住ヶ丘の歴史を知り、今回の地域活動、取り組みについて学べてよかったです。（女性、50代）

○高校生がたくさん参加してくれたので、いろいろ話を聞いて良かったです。地域で協力し合うこと、みんなにとって良い場所になるといいなと思いました。

「寄り道したくなる場所」笑顔が増えると良いな。(50代)

○高校生と大学生がたくさん参加してくれたので、意見がますます多様になった印象です。駅と学校の間を歩くだけのつながりから、周りに目を向けるきっかけになったようです。跡地利用の具体的な話し合いにも学生・生徒が参加すると、思いがけないアイデアが出るかもしれません。斉藤さん、たいらさんのお話には共通点がありました。パークナイズ、資源循環などのキーワードは、これからの跡地利用に欠かせないと思いました。(男性、50代)

<60代>

○斉藤さんの話からは、持続性あるまちづくり コミュニティとしてのまちづくりについて知ることができました。たいらさんからは、Community Garden が香住ヶ丘にあることを知らなかった 私たちにとっては衝撃でした。環境の循環と、community 作り、両方ができ、かつ、子どもの成長にとっての自然環境づくりは、大変、有益と思いました。(女性、60代)

○かしいかえん跡地を地域の人達が交流できる場にしたらよいとの話がありました。香住ヶ丘まちづくり協議会をつくり、地域の代表と住民が長期にわたり意見交換できる場があるといいと思いました。そして行政と企業と対等に話ができるコミュニティにつなげると良いと思います。小学校と中学校をつくるのはよいのですが、周辺が高齢化しているので、小学校中学校と共通化して、人が減ったら福祉施設として利用できるユニット型建物(公共施設)をつくるとよいと思います。(男性、60代)

○香椎花園跡地の新しいまちには、地域の人達が集える場所を確保してもらいたい。新しい住人だけでなく、古くから住んでいる人や域外からも老若男女が楽しめ、毎日の生活をリセットできる場所になってもらいたい。
・コミュニケーション
・グランドゴルフ
・ドッグラン
・テニス
・かけっこ? (60代)

○幅広い年代の方々に有益なスペースを一部、確保して欲しい。いろいろな年代の方々が、いろいろな思いをもって参加されていて、とても勉強になりました。思いはそれぞれですが、地域の人々が未永く楽しめる空間を一部でもいいから作って欲しいという気持は共通だったと思います。カフェ、レストラン付、映画館

ができたらいいな、と個人的には思う次第です。（映画を観たい人も利用できる）ありがとうございました。（女性、60代）

<70代以上>

○開発・資源 …気になる事として自然が沢山残るように希望します。人口減を考えると、後の仕様がうまく続く様な場所であってほしい。（女性、70代以上）

○香住ヶ丘は教育者の方が多く、いろいろな面ですぐれていると思っていましたが、今頃は高齢者が多くなり、コミュニケーションが取りにくくなって来ています。出来るだけ多くの方と顔を合わせ、楽しみたいと思って参加しました。（70代以上）

○未来につなぐワークショップの取り組みが大変良かったと思いました。（70代以上）

○小中高一貫校にしてはどうか。まわりなど、コンポスト作もいいのではないか。（女性、70代以上）

○循環型コミュニティガーデンを香椎花園の前に出来ることは大変喜ばしいことです。これが校区の中に広がればよいと思います。この作物を使って、クラフトビールが出来れば一番です。自然と環境の調和が一番ですね。（男性、70代以上）

○“民間の所有地で有るので難しいな”と思う事がいっぱいです。最低限、こういう開発（学校用地）をとというのが、せいっぱいではと思わせられました。（70代以上）

○キーワードが循環だった。人の循環～記憶の循環～土地の循環、跡地の活用に循環の仕組みを具体化できないか（香住ヶ丘高校の参加者が凄い、一つのチームで何かやれないかなあ）（70代以上）

○斉藤さんが、お話しされたパークナイズということばが印象に残りました。住宅地、学校等に囲まれ、海に面したこの土地を、未来を見すえた観点から100年先を考えて、活用策を企画してほしいと思いました。（男性、70代以上）

○皆さんと同じような考えでした。・子供から老人まで集えるような場所にして欲しい。・小・中学校を作って、後に生徒数が少なくなっても、空き教室を地域

の人達が活用できる場所にして欲しい。・コンポストは大変、参考になりました。（70代以上）

○香椎花園の名前は是非残してほしい。人が集まる場所だと西鉄にとっても集客になる（スポーツ施設、公園など）人が交流できる子供から大人、ミニP迄、集えるかしかえんにしてほしい。（70代以上）

○・学校を増やしてほしい（小学校）・スーパーを増やしてほしい。・公園をつくり、運動場もほしい。・総合病院もほしいけれど、サイレンがうるさいのではないか。・5年後、高校はオンラインになる予定です。（男性、70代以上）

○かしかえんを囲んでいる香住ヶ丘6丁目1区、2区、3区、4区、5区で、1丁目、3丁1・2区災害が発生したときの避難場所がない。山から下りて来てすぐの高塚神社横、香椎球場横を非常避難場所にしてほしい。（70代以上）

○地域みんなのつどいの場所がほしい、公園、図書館香椎花園の名が残るような花のガーデンがほしい、コンポスト利用して。（女性、70代以上）

○多くの人が集まり、活発な意見が出て良かった。新しい出会いがあった。西鉄側との交渉しだい。（70代以上）

○Community Gardenについて、良く分かりました。町内会等の組織化が難しい状況の中で、このような施設が運営されることは重要かと思います。香椎花園跡地は、小中学校建設が望ましい。将来、子供数が減少してもCommunityとして活用、利用されることを考慮してほしいと思います。（男性、70代以上）

以上